

# 試合会場レポート

[試合番号]特設 2

[開催日]2011/6/26

[会場]ひたちなか市総合運動公園総合体育館

[観客数]1500

[開始時間]14:33

[終了時間]15:20

[試合時間]0:47

[主審]櫻村 雅美

[副審]松延 亮一

[記録員]追田 豊弘

女子：決勝戦

土浦日本大学高等学校

監督：石崎 吉宏

コーチ：牧内 梓

|   |    |                  |    |   |
|---|----|------------------|----|---|
| 2 | 25 | 第1セット<br>【 0:22】 | 21 | 0 |
|   | 25 | 第2セット<br>【 0:22】 | 16 |   |
|   |    | 第3セット<br>【 : 】   |    |   |

東洋大学附属牛久高等学校

監督：鈴木 敦子

コーチ：高橋 美樹

【 】内はセット時間

## 戦評

決勝戦は土浦日本大学高等学校と東洋大学附属牛久高等学校の対戦。関東大会茨城県予選会決勝戦と同じ組合せとなった。前回はフルセット、それも1点を争う好ゲームであった。今回も熱戦が期待できる。

第1セット、土浦日大は1番鈴木、4番赤津、東洋大牛久は3番成島、7番諏訪のスパイクの打ち合いで一歩も引かない展開であった。土浦日大は2番青木葉のサーブでレシーブを乱し連続ポイントを取るが、東洋大牛久もタイムアウト後、3番成島、7番諏訪のスパイクですぐさま追いつく。東洋大牛久のブロックや土浦日大のミスがあり、15-18と中盤東洋大牛久がリードを奪うが、土浦日大がレシーブで粘り赤津、鈴木ブロックで22-20と逆転しリードを奪う。東洋大牛久も成島のクイックで追いつこうとするが、土浦日大5番青木葉のレフトからの攻撃でポイントを取った土浦日大が、このセットを25-21で振りきった。

第2セット序盤、東洋大牛久は高いブロックを意識したかスパイクミスがあり、土浦日大が6-3とリードする。第1セットと同じく、土浦日大2番青木葉のサーブでレシーブを乱し13-7とその後もしリードを拡げ、東洋大牛久は2回のタイムアウトを使い切る。リードした土浦日大はサーブが強くなり、東洋大牛久はレシーブで粘るも打開策が見つからず、ピンチサーバーを送るが結果には結びつかない。このまま流れは変わらず、25-16でこのセットも連取した。

前回よりレシーブの強化に成功したため、本来の高いスパイク・ブロックが得点に結びつくようになった土浦日大が、4年連続のインターハイ出場を決めた。